

概要

DigiCert® Software Trust Manager は、Smartcard Daemon (STM-SCD)機能により、Gnu Privacy Guard (GnuPGまたはGPG)環境の複雑なスクリプトや設定を不要にします。また、STM-SCDは幅広いプラットフォームと暗号アルゴリズムをネイティブでサポートし、他のツールでは制限されがちな利用例となる膜と署名の管理を簡素化します。

GPGの利用例

- Debian と RPM パッケージの署名
- GPGコマンドラインによるファイル署名
- Podman、skopeo、buildahなどのRedhatツールを使用したOCI準拠のコンテナ署名
- Gitコミット署名
- バウンシー・キャスル膜管理

DigiCert® Software Trust Manager は、GPGマスターおよびサブキーの属性と、膜管理と安全な署名のためのアクションを表示します。

GPG ネイティブ機能

STM-SCDは、Software Trust Manager の堅牢な膜管理、アクセスと署名のワークフロー機能をGPG環境に拡張します。

GPGキーリング・アーキテクチャのサポート

STM-SCDは、GUK (グラフィカル・ユーザー・インターフェース)、SMCTL (コマンドライン・インターフェース)、REST APIをサポートします。

すぐに使えるスマートカード・インターフェイス

STM-SCDは、他のツールで必要とされる複雑なスクリプトやコンフィギュレーションが不要になる、以下の3つのステップで署名が可能です。1) GPGカードのステータスを設定 2) キーリングをダウンロード 3) ファイルに署名

幅広いプラットフォームとアルゴリズムをサポート

STM-SCDはコンパイル済みで、Windows、Linux、Mac OSで使用でき、RSA、ECDSA、EDDSAアルゴリズムをサポートしています。

もっと詳しく

Software Trust Manager については、[こちらをご覧ください \(英文\)](#)。